

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2008年3月

コミッティ活動

Regulatory: 担当森田(tmorita@isda.org)

ストラクチャード商品: 「販売者と個人投資家の関係を管理する原則」の3月20日付改訂版ドラフト(英語原文と日本語参照訳)と Joint Association Committee のチェアからのレターが、3月21日、Japan Regulatory Committee のメンバーへ回覧された。コメントの回答期限は4月25日。

金融商品取引法: 3月19日、ISDAは同法施行後の残存する課題について意見書を金融庁に提出した。残存する課題は、顧客から店頭デリバティブ取引に対して差し入れられた担保と、店頭金融先物取引に対して差し入れられた担保の分別管理義務、不動産(インデックス)デリバティブ取引、フレイトデリバティブ取引の取り扱いなどについて。

Weather, commodity & developing products: 担当森田(tmorita@isda.org)

不動産デリバティブ: 3月14日に第三回 Japan 不動産デリバティブ・ワーキンググループが開催された。議題は、本邦の不動産インデックスデリバティブ取引を行うにおいて、Form X または Form Y を使用するのが適切なのか、または別のフォーム(例えば、Form Z)を作成することが必要なのか等。メンバーは、小作業部会を組成して詳細な議論を行うこととする。

排出量取引: 3月11日と14日の両日、ISDAは経済産業省、環境省と、本邦における排出量取引市場の創設について意見交換を行った。また、ISDAは、経済産業省にて設立された、金融関連商品としてのクレジット取引ルールのあり方や京都クレジットの法的論点について検討を行う「京都クレジット流通基盤整備検討会」へオブザーバーとして参加した。

Collateral: 担当森田(tmorita@isda.org)

3月13日、Japan Collateral meeting が開催され、日本法顧問弁護士(和仁弁護士)と Japan Documentation Committee のチェア(田中氏)が「1995 ISDA Credit Support Annex (Security Interest – Japanese Law)」改訂の背景と詳細について説明を行った。また、メンバーからのコメントを反映させたドラフトが Japan Documentation Committee メンバーと Japan Collateral Committee メンバーへ回覧された。

Japan Collateral Committee メンバーは、「東京市場における OTC デリバティブ取引の担保化に関する市場調査」への参加が依頼された。本調査の目的は、海外市場と異なりうる本邦担保取引の市場慣行を概観するとともに、今後の市場発展に向けて有益な情報を得ること。

Japan Collateral Committee 議長の眞鍋氏(三菱 UFJ 証券)が退任することとなり、新たに、上島氏(三菱東京 UFJ 銀行)が同 Committee の議長に選任された。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

ISDA 23rd Annual General Meeting
(Hilton Vienna)

4月15日~17日

Property Derivatives Working
(日本語による会合)

4月24日 (tbc)